# 第 3回総会

* **概要**

|  |  |
| --- | --- |
| 期間 | 2000-09-04 ~ 2000-09-07 |
| 開催地 | 日本国 > 兵庫県 |
| 開催者 | 日本国 > 兵庫県 |
| 参加 | ５カ国26自治団体 |
| 中華人民共和国 | 黒龍江省、山東省、寧夏回族自治区 |
| 日本国 | 青森県、山形県、新潟県、富山県、石川県、福井県、京都府、兵庫県、鳥取県、島根県、山口県 |
| 大韓民国 | 釜山広域市、江原道、忠清北道、忠清南道、全羅北道、慶尚北道、慶尚南道 |
| モンゴル国 | 中央県 |
| ロシア連邦 | 沿海地方、ハバロフスク地方、カムチャツカ州、サハリン州 |

* **内容**

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|

|  |
| --- |
| **▷「北東アジアの持続的な発展と経済交流」および「北東地域の人的交流・人材育成」がテーマ****▷巡回事務局の問題点を補完するため、常設事務局を慶尚北道に設置を論議** |
|  |
| **▷北朝鮮地方政府の連合参与を誘導するため共同努力に合意** |
|  |
|

|  |
| --- |
| **▷2002年総会開催地として、ロシアのハバロフスク州に決定**  |

 |
|  |

 |

* **兵庫･淡路宣言文**

2000年9月5日、国際園芸･造園博覧会の淡路花博覧会「JAPAN FLORA200」が開催されている兵庫県淡路夢の舞台国際会議場で、 中華人民共和国、日本、モンゴル、大韓民国およびロシア連邦の地方自治団体が一同に集まり、「北東アジア地域自治団体会議2000」が開会した。

今回の自治団体会議は、1996年に大韓民国慶尚北道で設立された北東アジア地域自治団体連合(以下「連合」とする)の第３回総会として開催された。

1990年代を通じて北東アジア地域およびアジア太平洋地域の各国では、経済面を中心とするグローバル化が進行している。 その結果豊かさをもたらした反面、金融危機など、一国の政府だけでは対応がむずかしい課題も発生した

また、各地で頻繁に発生し深刻な被害をもたらした地震や洪水など、自然災害に対した対応については、NGOなども参加した国際的な援助活動が日常的に見られた。 人類共通の課題である地球環境問題に対しても一人ひとりが主体的となって対処しなければならない課題であるという認識が高まった。

こうした中開催された今回の会議では、参加代表者が21世紀を目指した北東アジア地域間の交流ビジョンを共有し、新しい交流促進方案の形成に寄与することが期待される。 私たち、参加者は、設立後の連合活動を振り返りながら連合の内実などについて協議を行った。 同時に今後の地域間交流の展開に対して「北東アジアの持続的な発展と経済交流」および「北東アジア地域の人的交流・人材育成」の二つのテーマを定めた。 経済、環境、文化を始めとした幅の広い分野にわたって、率直な意見交換を行った。.

協議を通じ私たち参加者は、北東アジア地域の各自治団体が地域間交流を促進することにより、相互理解を深め、また技術と経験を共有することにより、 北東アジア地域全体の発展を目指す連合の意義を再確認した。 今後は次の事項について共感を得て、それを実践するため努力することとした。

1. 北東アジア地域の発展に寄与するため、自治団体間の情報交流を一層忠実に行うこととする。 それとともに各地域で開催される産業メッセやイベントなどに対する相互参加により、域内外を対象とした経済交流事業の場を拡張する。 また地域の持続的な発展には、環境問題に対する対応が必須であるという認識のもと、 国際会議の開催などによる環境政策と関係した情報交流を忠実に行い、今後環境問題と関係する域内自治団体間の技術協力を促進する。

2. 北東アジア地域間の幅広い交流を促進させるためには、学術、文化、芸術などの人的交流と、 都市問題などに対する対応と関連する人材育成に関して連携協力が不可欠である。 このため将来の北東アジア地域を担う青少年と学生などの若い世代を中心とした人的交流を推進し、相互理解を深める。 また、健康、防災などの都市問題に対応するなど、人材育成の面からの地域間協力の推進を進める。

3. 連合の合理的かつ効果的な運営を推進するため、事務局の役割および組織と会費など財政面の 課題を含む連合の運営に関する課題と対応策について、実務委員会で引き続き検討し、次期総会で報告する。 また実務委員会に議長団体、副議長団体および各国2団体程度から構成される「連合の合理的、 効果的な運営に関する実務小委員会」を設置し、効率的な検討に寄与する。

4. 今年6月に開かれた大韓民国および北朝鮮の首脳会談を契機に、朝鮮半島の緊張緩和が進むことを期待し、 同時に北東アジア地域各国の中で唯一連合参加 自治団体がない北朝鮮の地方自治団体が北東アジアの共同発展と、 世界平和のために寄与し、連合の目的に賛同し、連合としての参加が実現できることを心から歓迎する。

5. 次期総会は、参加自治団体の総意により、2002年ロシア連邦ハバロフスク地方で開催する。